

2026年 第27回日本正常圧水頭症学会学術集会（山形県天童温泉ほほえみの宿滝の湯）

オンラインライブ配信あり・オンデマンド配信あり*（3/1-31予定）（*一部演題を除く）

2月13日(金) 学会前日 第1会場		2月13日(金) 学会前日 第2会場		2月13日(金) ポスター会場	
15:00-17:00 参加受付		14:30-15:00 NPH患者会議 (京都市立会場)		15:45-16:45 NPH患者会議 (京都市立会場)	
2月14日(土) 1日目 第1会場		2月14日(土) 1日目 第2会場		17:00~ エクスカーションツアー バス発券 (22:00発着)	
2月14日(土) 1日目 第1会場		2月14日(土) 1日目 第2会場		2月14日(土) ポスター会場	
7:30-8:30 参加受付		0日 演示ライド受付			
8:30-8:35 開会の挨拶 伊藤千書		8:30-8:35 開会の挨拶 伊藤千書 (ラブアンド)			
8:35-9:25 最新のHakim病の研究動向から疾患を考える 癡呆・認知症		8:35-10:05 最新動向2 頭蓋内圧亢進による水頭蓋脳脊髄症アート 癡呆・認知症			
8:35-9:45 認知症リスク・アセスメント I型におけるقوى低下症の不均勻な拡大 (DESH) に関する検討 竹中洋介		8:35-9:45 脳梗塞による二度性脳梗塞の有用性 高 美穂			
8:45-8:55 癡呆症正症 末期脳症経過中における神経変性疾患の発症		8:45-8:55 末梢型の神経変性疾患の早期診断 高橋 伸一			
8:55-9:05 進行性失認症 末期脳症経過中における神経変性疾患の予測因子 多田英一		8:55-9:05 進行性失認症の早期診断 高橋 伸一			
9:05-9:15 ハキム病の診断治療におけるバーキンソン病対疾患の影響 名倉 伸弘		9:05-9:15 LPシャント術における術中造影の有用性の後方筋膜的検討 高橋 伸一			
9:15-9:25 糖尿病を併合した正常圧水頭症に対するSGLT2阻害薬による治療の可能性について 宮島一貴		9:15-9:25 痛風における完全な鑑別と房心シャント手術の寄り添い 高野 伸一			
9:30-10:05 特別講演 ドラッグ・リボシジングによるバーキンソン病の発発 癡呆: 小林 栄一郎 演講: 加藤 大丈		9:30-9:45 LPシャント術における術中造影の有用性 高橋 伸一			
10:05-11:45 シンポジウム Aを認めた、診察でどのように使うか 監修: 伊藤千書 伴善義		10:25-11:45 第一回講演9 これまでの水頭蓋脳脊髄症の研究 監修: 本村 伸一郎 三浦 邦彦			
10:35-10:45 NPHの成立機序 : 古くて新しいWindkessel theory 吉川 正義		10:35-10:45 NPHの成立機序: 古くて新しいWindkessel theory 吉川 正義			
10:50-10:55 脳梗塞 : 病因に遡る~臨工学から 近藤 昌也		10:45-10:55 グリシン系代謝軸による脳梗塞 (POCD) モデルの提唱と、正常圧水頭症におけるPOCD 变遷の説明 吉川 正義			
10:55-10:58 アルツハイマー病 : 頭痛による~臨床疾患から 坂巣 伸一		10:55-10:58 早期発症性アルツハイマーにおける脳梗塞疾患 山田 育介			
10:55-11:20 AIが見る認知症の発見生活~AI付きTV電話を中心に~ 津野田 浩尚		11:05-11:15 脊髄レルムからの脳梗塞Neurofibriとシナパ管後動脈を壁膜リーンバーン系の解剖学的 変遷から再考する 高野 伸一			
11:20-11:42 (English) AIで判別できる水頭症・認知症の認知能障害~臨床研究より~ AI-Detectable Cognitive Impairment in Hydrocephalus and Dementia: Findings from a Clinical Study Ko-Su Park		11:15-11:25 タウの脳梗塞後から健常外リンパ系への移行機序の検討 高野 伸一			
11:30-12:00 ランチョンセミナー 「AIの診療・研究における新技術」 (内講: インテリジェンス、富士山イム)		11:25-11:35 新規脳梗塞症~AIと頭蓋モデルマスクの脳梗塞解析 吉川 伸之			
11:30-12:00 多発性硬化症の脳梗塞の発症機序における新技術 多発性硬化症 MRI Analyser Insight (G-A) によるNAPSE VINCENT 監修: 伊藤千書 演講: 田中 実		11:35-11:45 脳梗塞と疾患における頭蓋底の機能を再考する 中島 伸一			
13:00-13:45 教育講義 臨床経験から癡呆の進化~臨床に通じるために 監修: 小山 伸一郎 演講: 生田 博英		13:00-14:00 シンポジウム: Hakim病の癡呆 監修: 関野 伸光 桑本 亮介			
13:30-13:55 シンポジウム 脳梗塞疾患の臨床研究~臨床研究からの解剖学 監修: 佐藤 勝彦 中島 伸一		13:00-13:30 Hakim病の癡呆はなぜ生じるのか?~歩行障害、認知障害について~ 高野 伸一			
13:50-14:20 症を告げた癡呆子と脳梗塞疾患 野村 伸一		13:30-14:00 Hakim病の癡呆の病歴 田岡 伸也			
14:20-14:50 癡呆と脳梗塞疾患 西村 伸一		14:00-15:00 アフタヌーンセミナー (内講: エーティ株式会社、バイオジェン・ジャパン株式会社) アフタヌーンセミナーの特徴病~第一歩: 症状と臨床疾患との関連を含めて~ 監修: 大塚 伸一 演講: 川野 伸一			ポスター一覧
14:50-15:20 アルツハイマー病研究と脳梗塞疾患 山田 茂		15:00-15:40 臨会場演題 フレイムからみた水頭症・認知症 監修: 伊藤千書 演講: 大西 伸之			
15:20-15:50 認知症リハビリの可塑性 小西 伸之					
16:10-17:30 Joint symposium of the Japanese NPH society, MDS-Japan, and Korsakoff disease (NPH) and Movement disorders Chair: Atsushi Takeda, Hiroyasu Sato		16:00-16:40 シンポジウム やさしい脳梗塞術・心臓梗塞術 監修: 田中 伸也 演講: 鈴木 伸子			
16:00-16:25 Hydrocephalus in the new classification of PD spectrum Toru Baba		16:40-17:30 シンポジウム 水頭症・認知症のケア~認知症のジレンマと教訓~ 監修: 田中 伸也 演講: 鈴木 伸子			
16:25-16:50 Hakim's Disease with Parkinson's Disease: A Clinical Study Taji Tsunemi		16:40-17:00 水頭症・認知症の注意障害と軽度 川上 裕子			
16:50-17:15 Physicians and surgeons: how to build the clinical system of Hakim Kyungbin Kang		17:00-17:20 認知症のケアと倫理 (意思決定支援、行動制限) 高野 伸一			
17:15-17:40 Hydrocephalus from the perspective of movement disorders Jiyoung Youn		17:20-17:30 Discussion			
17:30-18:30 Discussion		17:30-18:30 第二回講演4 多発的の臨床から見えたHakim病 監修: 佐藤 勝彦 亀田 伸也			
17:30-17:50 癡呆の癡呆からみた水頭症の癡呆化 木村 伸一		17:30-17:40 Middle hydrocephalusの臨床 鈴木 伸也			
17:50-18:10 性別差の臨床からみた大脳病の癡呆化 林井 伸也		17:40-17:50 海外におけるDESHの検出の検討 木村 伸一			
18:10-18:30 性別差の臨床からみた大脳病の癡呆化 秋葉 伸也		17:50-18:00 NPH診断~治療の適応化に向けた院の取り組みと新たな診断基準開発の試み 小林 正方			
18:30-18:50 セラピストからみた水頭症臨床・研究の現状と課題~興味を持つ人が少ないのではないかなどだらうか~ 西園 伸也		18:00-18:10 在来在宅の脳梗塞と運動障害性神経変性疾患における脳梗塞 川上 裕子			
18:30-18:50 NPH患者とAD患者NPH患者の脳梗塞画像像と脳出血画像の比較 高谷 伸也		18:10-18:20 NPHにおける認知能障害の検討 鈴木 伸子			
18:50-19:10 名古屋病院における働き方改革~チーム医療で挑む高齢医療 大池 伸也		18:20-18:30 NPH患者とAD患者NPH患者の脳梗塞画像像と脳出血画像の比較 高谷 伸也			
2月15日(日) 1日目 第1会場		2月15日(日) 1日目 第2会場		2月15日(日) ポスター会場	
9:00-10:20 癡呆セミナー 癡呆セミナーはHakim病の癡呆症と脳梗塞以外疾患との円滑な診断連携体制に役立つ 「医療者連携のためのHakim病セミナー」を開催します		9:00-09:30 癡呆セミナー Hakim病セミナー (2026)		7:45-09:00 ポスターセッション 5 若手助教賞応募者 座長: 村井尚之	ポスターセッション 2 水頭症・認知症を 多角的に扱う 座長: 木村伸也
9:00-10:10 通知 通知: 我が国におけるNPHの臨床研究における特徴性正症圧水頭症診療に関する実績調査		9:30-10:30 癡呆セミナー Hakim病セミナー (2026)		9:10-10:15 ポスターセッション 7 若手助教賞応募者 座長: 高橋光一	ポスターセッション 3 Hakim病の性状 座長: 高橋光一
9:10-10:20 北海道におけるHakim病の臨床研究における特徴性正症圧水頭症の診療における存在・診断課題、今後の発展的課題に向けて~ 木村 伸也		9:30-10:30 癡呆セミナー Hakim病セミナー (2026)			17:10-18:25 ポスターセッション 4 水頭症のバイオマーカーと 生理学 座長: 川村海渡
9:20-10:30 研究: 診療における正症圧水頭症の現状から地域性を考慮した疾患認知向上と治療機序を模索する 鶴見 伸也		10:30-11:10 癡呆セミナー2 (内講: ビー・ブランズエースクラップ株式会社) prodGAV2.0シャンシテラスの実用化を競争する脳梗塞 監修: 小林 栄一郎 演講: 伊藤千書			
9:30-9:40 宮城・認知症医療センターと脳神経外科部が共存する施設の利点 宇都伸一郎		10:30-11:10 癡呆セミナー2 (内講: ビー・ブランズエースクラップ株式会社) prodGAV2.0シャンシテラスの実用化を競争する脳梗塞 監修: 大阪 カヨ子 演講: 外山 哲也 伸也			
9:40-9:50 東京・東邦共済病院 (東京都立団体) のNPH診療 鶴見 伸也		10:30-11:10 癡呆セミナー2 (内講: ビー・ブランズエースクラップ株式会社) prodGAV2.0シャンシテラスの実用化を競争する脳梗塞 監修: 大阪 カヨ子 演講: 外山 哲也 伸也			
9:50-10:00 横浜市: 私の地域での診療連携の実際 横井 伸也					
10:00-10:10 東京: オーバンシムス法を用いた包括的Hakim病診療、鳥取県高齢化~医師連携地域 横井 伸也					
10:10-10:20 鹿児島: 私の地域での診療連携の実際 鹿児島 伸也					
10:30-11:15 癡呆: コホート研究とは?基本と興味 監修: 小林 栄一郎 演講: 伊藤千書					
11:10-11:50 Hakim病の診療・病態・病程 監修: 伊藤千書 幸野千鶴子					
11:50-12:10 癡呆: 伸也 監修: 伊藤千書 幸野千鶴子					
11:55-12:15 経験談: 伊藤千書・幸野千鶴子 監修: 伊藤千書 幸野千鶴子					
12:15-13:30 1名手話助言 表彰式、所長の挨拶 伊藤千書					
13:30-14:00 学会終了式					